

用置
生産
生装
品け
注分
特仕

必要な部品即座に

NKE 作業時間30%短縮

部品搬送設備製造のNKE(京都府長岡京市、中村道一社長)は部品の保管庫から必要な部品だけを素早く選び出せるピッキング支援装置を開発した。二月に販売する。

製品の部品構成表をバーコードで読み取ると、必要な部品が置かれた棚をレーザーポインターで指し示す。特注品などを受注生産するメーカーを主な対象に、生産効率化の利点を売り込む。

装置は部品を置く棚の上をレーザ式で動くレーザーポインター、装置の動作指示や部品箱の位置情報データ管理を行うソフト、携帯情報端末(PDA)で構成する。部品を収納した箱の位置情報を棚の段と列の数字をもとに座標データにし、部

品番号としてソフトで管理する。例えば、印刷した部品構成表のバーコードをPDAで読み取ると、レーザーポインターが稼働。必要な部品のある箱を構成表に書かれた順番で指

し示す。作業員が部品のピッキングが終わったことをPDAで入力すると、次に必要な部品を指す。個別受注生産では使う部品が案件ごとに異なる。しかも在庫部品が一千種類以上にも及ぶ場合もあり、必要な部品を探

すのに時間がかかることが多い。新装置を使えば部品箱を探し出す手間が省け、ピッキング作業時間を30%短縮できるといふ。価格は千五百力所を指し示す装置で一台三百六十万円から。初年度は二十台の販売を目指す。